



# AJU 愛実

編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務局
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所  
(大地の家／愛実友だちの家／紙風船)

## 第10号 会報

定価：一部50円



理事長 島しづ子より	.....	P1
事務局より	.....	P2
愛実友だちの家のページ	.....	P3~4
大地の家のページ	.....	P5~6
紙風船のページ	.....	P7~10
「心が立ち直る瞬間(とき)」／南 寿樹	.....	P11
寄付者名簿	.....	P12
定例会報告	.....	P13
その他	.....	P14

愛実友だちの家  
「名古屋港水族館」



紙風船「短冊に願いをこめて...」



大地の家「スイカ割り」



## 「へたでもいいよ」

島しづ子

昨年から、キリスト教幼稚園の「野並のぞみ園」に伺っている。牧師さんが不在なので礼拝で聖書のお話をするためだ。そこではお腹の底から笑うような出来事によく出会う。

以前在任していた鳴海教会には付属の幼稚園があり、園長を兼務した。ある日、障がいを持つお子さんを連れてお母さんが入園させて欲しいと来られた。たぶん4歳ぐらいだったと思う。トイレの自立もまだらしく、言葉も話せない様子だった。「無理です。受け入れられません。」と言う私に、「一緒に入れてもらえたら、もっと出来るようになります。」と執拗に食い下がった。玄関でも長い間話し合い、さらに門でも長い時間「できるようになります」と言い続けたお母さん。その姿に打たれて、園の先生方と話し合い、教会の人にボランティアに来て頂いて受け入れた。Sちゃんは這って移動し、自分のことも十分に出来ないのに、他の子や小さい子のお世話をしようとするので初めはあきれた。「人のことはいいから、まず自分のことができるようになりなさい。」と思っていたが、次第に彼女のやり方に感心するようになった。自分も助けてもらうから、他の人を助けようとする彼女。こういう世界っていいなあと思えた。助けてもらうだけじゃなくて、自分も助ける。障がい者だからって受けるだけじゃない。出来ることで他の人を助けようとする。Sちゃんの姿勢に次第に励まされるようになった。

他にも障がいを持つお子さんたちがいつも園にいて、その子たちの存在にも、彼らを取り巻く子どもたちの姿勢にも学ばされた。その後、私の娘が病気の後遺症で重度の障がいを持った時も、障がいを持った娘の存在を受け入れるのが比較的やすかったのは、Sちゃん達のおかげだと思う。

野並のぞみ園では週一回「おばちゃん」の手作り昼食がある。菜園で出来た野菜中心のメニューで、愛がこもっている。デザートもある。この前はうさぎの格好をしたりんごだった。おばちゃんの前には「うさぎりんご」を待つ子どもたちが列を作っている。手伝いをしようと思って、「うさぎりんご」を作り始めたが、なかなか難しい。

「うまくいかないなあ！」とぶつぶつ言いながら皮を剥いていたら、声がかかった。「ぼくはへたでもいいよ」「えっ！へたでもいい～」嬉しくなった。緊張している私に「へたでもいいよ」だって。そうか～私はこういう風に声をかけたことがあるだろうか。「上手にね。ちゃんとしなくちゃだめ！」そんな完璧を求めるような言い方ばかりしてきた気がする。こういう言葉を発することができる園や家庭の空気っていいなあ、と思った。

愛実の会の昼食も美味しい。厨房の担当者やボランティアさんが「おいしいもの食べさせたい」という気持ちで作って下さっているからだと思う。鳴海教会時代、幼稚園はお弁当持参だった。面倒がるお母さんたちによく言ったものだ。「子どもたちは愛情を食べているんです。食べ物に愛情です。」と。食べることは大事だと思う。コンビニの弁当を食べ続けていると「酸素不足、愛不足」を感じる。愛実の会では大変な労力でも給食の手作りを続けて欲しいと願っている。「へたでもいいよ、愛があれば」おっと間違い、私以外はみな上手だった。



## 外部研修とのかかわり

今回は私が関わっている「あいち障害福祉ゼミナール」について書いてみたいと思います。この企画はいくつかの事業所の中堅職員が集まり、1年間5回シリーズで研修に参加すると同時に、1回ずつ数人で分担してテーマを決めることから講師との交渉等も含め、裏方の役割も同時に果たそうという内容です。私自身は第2回目(9月17日開催)の担当になったので、他の担当者と一緒にどんなテーマが良いかや、誰を講師にお招きしたいか等話し合い、講師になって頂きたい方と打合せしたり、ということをして他の担当者や講師の方をよくご存知の方と一緒にやってきました。確かに面白くもあり、自分一人ではとても物事が進まず、本当に協力していかないと進まないなあと実感する一方、やはり結構大変な実務だなというのも正直なところ

です。準備段階から関わってみて思うのは、もちろん当日の研修が学びの場であると同時に研修を作り上げていくプロセスに関わっていくことがある意味当日の学びよりもっと大きいかもしれないという思いがあります。

私が担当者の一人である第2回目のテーマは「コミュニケーションとマナー」です。どんな仕事でもそうなのですが、福祉の仕事もやはり人間関係が大きな比重を占めます。この人間関係を考えるとき最も土台となるのがこのテーマかな、と話し合っ

て決めました。この原稿を書いている今は準備が大方終わった段階です。当日、よき学びの場にしたいと思っています。

中森由哉



### 「小窓から」 5

大野義徳

この仕事をしていると、「大変ですね」と声を掛けられることがある。まあ確かに楽な仕事ではないかも知れないが、それはどんな仕事でもそうであろう。むしろアシスタントが、いかにも介護の大変そうな人たちの手となり足となり、「自分を殺して」かいがいしく尽くしているような姿に映ったことで出た言葉なんだろうな、と感じることがある。本当は違うんだけどな、と思っても、そこは「いやあ、そうでもないですよ」と多少引きつった下手な笑顔で答えてその場をやりすごす。

アシスタントが上でも下でもなく、メンバーとは対等な目線を保つことが大切ではあるがじつはこれがとても難しい。メンバーはあやつり人形ではないし、アシスタントは奴隷ではない。そうと意識してはいてもバイアスがかかってしまうのが人の弱さと言え

ばそうかもしれない。前回、メンバーの意思を引き出す難しさについて書かせてもらったがこれも、人のありようと関わりがある。例えば意思を問われても、「どちらでもいいや」という時もある。しかしそれよりももっと複雑なのは、「知って欲しい」という思いと「知って欲しくない」という相反する思いを心に同居させているケースだ。この心理は、障害者ならずとも広く持っているようで、二元論的に割り切

ってはいけな

# 愛実友だちの家のページ

(P 3～4)

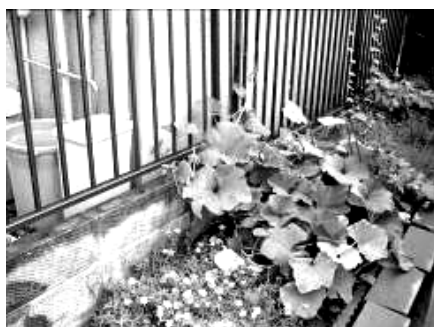
長い梅雨が終わり、やっと夏が来た！！と思ったらもう秋の気配。

暑さが苦手なメンバーが多いので、メンバーにとってはラッキー？かも知れないのですが、農作物への影響などが心配ですね。

そんな中、愛実の園芸活動はなかなか順調。

外の暑さをよそに、室内では福祉フェスタの準備を着々と進め、余暇は水族館めぐりを楽しみました。今回はそんな活動の様子をご紹介します♪♪

## \*園芸活動\*



毎年5月に、アメリカ大使館主催のウォーカーソンという催しがあり、アシスタントを中心に参加しています。今年はそのに出展されていた中部電力のブースで、地球温暖化防止対策の一環、夏の暑さを和らげる緑のカーテンキャンペーンとして、蔓が伝う朝顔やゴーヤ、ヘチマの種が配られていました。7月に入り夏の気配が濃くなってきた頃に、みんなで種蒔き。

すくすく育ってデイ部屋の窓辺を涼しく彩ってくれました。写真は赤ちゃんヘチマです。

こちらは駐車場脇の畑の様子です。6月号で紹介したポーチュラカが見事に花を咲かせてくれました。

ラベンダーやバジルも見事に茂り、良い香りを漂わせてくれています。

バジルは収穫してペーストにしたものを生地練りこみ、バジルパンを焼きました。

ふわふわのパンが焼きあがって、バジルの香り豊かな味にみんな大満足の様子でした。



## \* 福祉フェスタに向けて \*

### ☆フェルトボール☆

フェルトボール作りもいよいよ作品作りの段階に。はらぺこあおむしをモチーフにしたストラップや、まんまるを生かしたかわいい髪飾りなど、メンバーにお手伝いしてもらいながら心を込めて作っています。

### ☆マグネットピンチ☆

フェルトボールを使った小物以外に、木製の洗濯ばさみにペイントをしたものにマグネットを貼り付けた『マグネットピンチ』も作成中。

メンバーの色のセンスはアシスタントにないものが多く、驚きや発見がありとても楽しい作品です。



## \* 涼を求めて。。。 \*

夏のお出掛け場所の定番といえば『名古屋港水族館』

のんびり愛実メンバーのペースに合わせて、出掛ける日を2回に分けて楽しみました。

1回目はイルカショーの見学。いきいきと泳ぎ跳ね回るイルカの姿にみんな釘付け。大きな音が苦手なメンバーはイルカのアルカイクスマイル虚しく泣き通してでしたが…

2回目は生き物に触れるコーナーとペンギン水槽へ。

なまこやかシパンというウニの仲間を無理矢理？手に乗せられ、ハイチーズ☆夏の良い思い出の1ページです。



# 大地の家のページ

(P5~6)

## プチ★夏祭り

今年は初の試みとして「大地の家夏祭り」を実施しました。  
7月中旬よりメンバーにはお面作りをしてもらい、アシスタントは小物や景品、引き換え券などの準備をしてきました。



当日は民謡や盆踊りの音頭を流し、太鼓やベーゴマ、だるま落としなどの昔懐かしいおもちゃも用意しました。



また、魚釣り、射的、宝引き、スーパーボールすくいなど縁日では定番のゲームコーナーも設置し、いざ本番です。

太鼓をリズムよく叩いてみたりゲームを楽しむメンバー、これまた定番のたこ焼きを食べてはニコニコしているメンバー…それぞれが思い思いの方法で夏祭りを実感し楽しんでもらったようで、苦労して準備してきた甲斐があったと思いました。

また、夏祭りのクライマックスには、近隣小学生のボランティアによる「堀川太鼓」の生演奏もありました。

小さな子供たちの見事なバチ裁きや、太鼓の振動が体全体で感じられる生演奏の迫力に、メンバーもアシスタントも思わず見入って、聞き入ってしまいました。演奏が終わると拍手喝采でした。

一日のデイの活動での夏祭りでしたので、ほんの短い時間でしたが、日本らしい夏を全員で楽しむことができたひと時でした。

## 流しそうめん大会♪

日本の夏★第2弾として流しそうめんにも今年は挑戦しました。

暑い夏に涼やかな水の音と、喉越しの良いそうめんを期待して、当日は朝から準備に取り掛かりました。

暑く日差しの強い日だったので、大地の家の駐車場にブルーシートで大きな屋根を張り、みんなで外でのランチタイムとなりました。



麺はうまく流れるのだろうか、途中で水が漏れて水浸しにならないだろうかと不安でもありましたが…いざ始まってみると上手に麺も流れて行き、なかなか見えておもしろいものでした。

また、メンバーも外で食べることが嬉しいのかニコニコしていたり、普段と違う食事風景に戸惑った表情を見せたりと、それぞれに感じ方が違うようでした。



楽しい時間はあっという間で、順調に進んでいくのかと思っていたところ…「ピューッ、ビューッ!!」といきなり強風が吹きすさみ、苦勞して設置した屋根を吹き飛ばしてしまいました。バタバタとはためくブルーシートの隅を必死になって掴み、屋根が落ちてくることだけは避けられましたが、かなりハードなものでした。

また、途中から麺がのびてしまったり、量が多かったりと反省点もたくさんある企画だったと思います。

しかし、大地の家が大事にしている「季節感」を味わうには十分なものだったのではないかと思います。

普段の生活では暑い季節をうっとおしく感じがちですが、束の間の涼しげな夏を実感できたことと思います。

少し病み付きになりつつあるので、ひょっとしたら来年も「流しそうめん」が大地の家の活動に登場するかもしれません(^o^)/

もちろんその時は今回の反省点を十分に活かした企画を作りたいと思います★



### 今年の夏は…

今年の夏は本当に短いものでした。しかし、短いながらも先述のように「夏祭り」や「流しそうめん」をして充実した夏をすごせたのではないかと思います。

また、それら以外にも大きなスイカでスイカ割りをしたり、久しぶりに外のプールへお出かけをしたりもしました。

みんながみんないつも楽しめている訳では決してありませんが、少しでも多くのメンバー、アシスタントが一日一日を楽しんですごせるよう今後も取り組んでいきたいと思っています★



## あったかあつた福祉フェスタに向けて②

今年も11月15日に催される「あったかあつた福祉フェスタ」に向けて自主製品作りに取り組んできました。

昨年までに無かった取組みとして今年は「アクリルたわし作り」に挑戦中です！簡単な編み機を使っての取組みですが、意外と一つのものを作り上げるのは非常に難しいのだと実感しました(ioi)クルクルとレバーを回していくと細い毛糸がひも状に編まれて出てくるのですが、途中で毛糸が絡まったり、網目がずれていたりトラブル続出です。

しかし、必死になってレバーを回したり、ニコニコと笑いながら取り組んでいるメンバーの姿を見ていると、作業自体は難しいと思いつつも、どこかで心が癒されていくように思います。

初めての取組みで、さらに難しさもあって、多くの製品は作り上げられませんでした。当日の販売を楽しみにしたいと思います。

去年までは熱田区生涯学習センターで行われていた福祉フェスタですが、今年からは『熱田区役所』で催されます。

場所が変わってメンバーが戸惑ったり、アシスタントに余裕がなくならないかと不安もありますが、新たなチャレンジに期待したいと思います。



**2009.11.15熱田区役所6Fにて販売します★**



# 紙風船のページ

(P7~10)

少しずつ秋の気配を感じる季節になりましたね。  
今年の夏は、新しい人形劇の制作に取り組む一方、他施設への施設見学や外出体験、月一会などの中で様々な事を学び、考える機会がたくさんありましたのでご紹介したいと思います。

## 施設見学



7月末に昭和区にある社会福祉法人「ライトハウス」さんで見学をさせていただきました。他の施設ではどのような仕事を行っているか、また利用者の方たちの様子などを知りたいことを目的に行いました。

当日は、職員の方から施設の説明をしていただいたあと、軽作業で箱にシールを張ったり、手袋の数を数えたりする様子などを見学させていただきました。また目の不自由な方が音声を聞きながらパソコンで打ち込み作業をしている様子などが、メンバーにはとても印象に残っていたようです。様々な活動をされている施設でしたので、みんなとても興味深く、真剣にメモを取るメンバーいたり、とても良い機会になりました。

ぜひまたゆっくりお伺いできたらなと感じています。

7月に2人のメンバーが南区にあるガスエネルギー館へ外出体験にでかけました。

ガスエネルギー館では様々なことを勉強してきました。北極の氷がとけて、白クマの住む場所がなくなるという映像を見てきたり、新しいエネルギーとして期待されているメタンハイグレードを、燃える氷の実験で実際に見る事ができました。

また今回の外出体験をきっかけに、自分たちのちょっとした意識の変化で、二酸化炭素を減らすことができるんだと実感しました。

紙風船に戻ってからは、みんなでエコについて考え、まずは自分たちの意識からだね！ということで、自分たちにもできるエコ活動に少しずつですが取り組んでいます！

## 外出体験



## 月一会



7月の月一会ではバリアフリーをテーマに、ゲストとして愛知県立大学教授の須藤八千代先生に来ていただくことができました。そして、バリアフリーに関する考えや、これまでの経験談など貴重なお話をたくさん聞かせていただく事ができました。

須藤先生のお話は、私たちがバリアフリーを意識し、広めていく為には「自分たちがもっと積極的に外に出て、行動していかなければいけない」ということを改めて感じさせられるお話でした。

このように、いろいろな立場の方とお話をさせていただくことは、メンバー・アシスタントともに良い刺激になることを今回の月一会では感じました。またこういった機会を定期的にもつ事ができたらなと思います。



## 9月1日は防災の日

少し前にも静岡の方で強い地震がありました。高速道路が崩れるなど大きな被害もありました。防災の日ということもあり、「もし地震がきたらどうする」をテーマに、みんなでいろんなことを想定して考える時間をつくりました。

もし地震がきたら机の下にもぐろう！でも・・・車いすから降りれないメンバーはどうする？地震が来たら車いすは倒れてしまうかも・・・でもとりあえず、まずはみんな頭を守らないとね！だけど自分で身を守れないメンバーはどうする？メンバーからもたくさんの心配が出てきました。

メンバーそれぞれできることは違うけど、自分なら何ができるかを考えてみよう！  
「僕は机の下にもぐれるよ」「私は頭を下げるくらいかなあ」「何もできないかも・・・」

その他、アシスタントは何ができるかなあ？みんなの身の回りにある危険なものは？避難場所はどこだっけ？災害伝言ダイヤルってどうやってやるの？などたくさんの事を話し合いました。そして、いよいよ実践です！

### 地震を知らせるアラームがビビビッ！ビビビッ！

携帯電話のアラームを利用して、地震が来たという合図にしました。「地震だー！」大きな声と同時に訓練スタート！しかし、いざ地震がきたとなると、ただの音ですらとっさに動くことができませんでした。普段は動けるのにあまりの急な出来事にポー然としてしまうメンバーがいたり、アシスタントもうまく声掛けが出来なかったりと、ほんとに地震が起こった時の怖さを痛感しました。

訓練をしてみて、いつ来るかわからない地震に備えて、今できる準備を1つずつ行っていこうと改めて再確認する機会となりました。

皆さんもぜひ今のうちに色々な準備を整えておいてくださいね！



#### 【あしがき】

梅雨明けが8月にすれ込み野菜の高騰もありました。  
今年は季節はずれの新型インフルエンザが流行っています。  
秋以降も流行るみたいなのでお互い気をつけましょう。  
私たちメンバーも会報を見て頂いた通り色々勉強出来た3カ月間でした。  
今年も残り3カ月、体調に気をつけながら頑張りましょう。

潮田 則行

## <メンバーの思い>

### 「紙風船に入って」

今 利優

今はまだ練習の段階だけど、ちょっとずつ音響やセリフ合わせが出来るようになってきたと思っています。

新作の話し合いとかも、いろいろ考えたことを、みんなで出し合って決めていけるので楽しくなってきました。

今までの僕なら、そんなこと面倒くさくて嫌だったけど、紙風船に入ってからには逆に楽しいと思うようになりました。

なので今でも正直、そんな自分に驚いています。

これからも、もっといろんなこと頑張っていこうと思います。



## <協力者の思い>

### 「小さな、かけがえの無い世界」

中野 潔

「世界中どこだって笑いあり、涙あり、みんなそれぞれ助け合う小さな世界…」

この歌がステージから客席に向かって流れている時、仲間たちは本当に輝くような笑顔をいつもうかべています。僕が「人形劇団・紙風船」に（及ばずながらですが）ボランティアとして参加させてもらっているのは、その笑顔と真剣な眼差しに惚れ込んでしまったからです。

いつもは冗談を言い笑っている人も、遠慮がちにしている人も、舞台上上がるとみんなそれぞれに大きな声を出し、進行に合わせて的確に役割をこなして行く。

ステージ裏から見る仲間たちの動きはプロそのものです。その姿に観客も徐々に引き込まれていき、子どもたちの声もいつの間にか静寂に変わっていきます。舞台にかける仲間たちの熱意が、思いが空間を満たしてゆくようです。

私たちの個性そのままに、仲間たちの個性そのままに、様々な人形たちが舞台上を楽しく、ユーモラスに駆け巡る様子は、私たちの日常に重ね合わせる事ができます。様々な困難を抱えながらも、いろんな人の力を借りて助け合って生きていく私たちの日常を。だからでしょう、舞台が終わるといつも客席から大きな拍手といっぱい笑顔が仲間たちに送られています。そしてその中でとびっきりの笑顔はやはり「やり遂げた」感いっぱい仲間たちでしょう。何度見ても輝かしい、誇らしいその笑顔は、見ている人たちにも更なる笑顔をプレゼントしてくれているようです。

何度見ても楽しい、なんか嬉しくなってしまう「劇団・紙風船」の公演にまた呼んでください。活動にほんの少しでも参加できる事は僕のちっちゃな「誇り」なんです。これからの活躍をいっぱい期待します。これからもよろしくね。

## 【公演だより】

第116回 2009年8月22日(土) 静岡県湖西市ふれあいまつりにて公演  
湖西市社会福祉協議会主催 湖西市市民会館にて 「モコちゃん」

静岡県で公演を行いました。県外という事もあり、行くだけでも大変でしたが、まずは皆が無事に集合出来て一安心。今回の公演では2年ぶりに公演に参加するメンバーがいて久しぶりに「モコちゃん」にナレーションが帰って来ました。お客さんのまっすぐ劇を見てくれている表情がとても印象的でした。いろいろなハプニングもありましたが、たくさんの方の協力があり、無事に公演を終えることができました。ありがとうございます。



## 【今後の公演予定】

2009年11月21日(土) 中村区役所人権尊重まつづくり事業として  
同朋大学 多目的ホールにて公演 18:00～「モコちゃん」  
主催 : 社会福祉法人あさみどりの会  
運営 : 特定非営利活動法人ひょうたんカフェ

※ パペットフェスティバルは今回は選考から外れた為不参加となりましたのでご了承ください。

## 人形劇新作づくり

新作づくりは3つのグループに分かれて、「環境問題」「友情」「ありがとう」という違ったテーマに沿って作品づくりを行っています。

現在は、どのグループも台本作り真っ最中です。台本を作るといってもそんなに簡単ではなく、ほんとに話の構成を考えていくことは難しいと痛感しながらも、月に一回の講座にむけて、毎日のように頭をひねらせながら考えています。

自分たちのメッセージを伝えるために、物語の構成や様々な表現の仕方など、観る立場にたって考える難しさを感じながら取り組んでいます。

台本完成にはまだまだ時間が必要になりそうですが、どんな作品ができていくのか楽しみでもあります。

じっくりと観ていただく方に喜んでいただける作品を作っていきたいと思っています！



## 【公演依頼募集中】

地域のイベント等、何か機会がありましたらぜひ声をかけてください！



# 心が立ち直る瞬間（とき）

— 夏休みのある1日 — 南 寿 樹

「雷注意報が出たら、プール指導はなしにしましょう」という取り決めをしたばかりに今シーズンは、ほとんどプールには入れなかった。夏休みのはじめの1週間のプール開放も7月24日(金)が最初で最後になった。大府養護学校は、病弱、虚弱の児童生徒を対象にしている学校であるが、近年運動制限のない「広汎性発達障害」(人間関係づくりに困難を抱える)の児童生徒がほとんどになっている。地元の小中学校では適応が難しいという事情で隣接の小児医療センターに入院し、そこから通ってきている。

さて7月24日のこの日、小学部の子どもたち7名が職員に付き添われてプールにやってきました。「早く入りたい」「思いっきり遊ぼうね」「うん」…体育館裏のひっそりとしたプール周辺がいっぺんに賑やかになった。悪天候続きだったため、どの子もずっと病院の中において退屈し、ストレスもたまっていたのだろう。(たいていの子が病室でゲームをしている)

「いらっしゃい。やっと入れるね」私はプールの管理者として、みんなを笑顔で迎える。ところが、みんなの姿が更衣室に消えてしばらくして野原先生が困った顔で駆け寄ってくる。「どうでしょう、孝夫君の鞆の中には水泳帽しか入ってないんです」野原先生の後ろには孝夫(小6)の泣き出しそうな姿。孝夫は転校してきたばかりで不安になると学校から飛び出してしまふ。着替えてプールサイドに出た児童の声が孝夫の気持ちを焦らせる。

(これはパニックになる)とっさに私は「大丈夫だよ。ここから病棟に電話してあげるから」という言葉に続けて「それより孝夫君に頼みがあるんだけど、プールサイドにホースで水をまいてくれない？人手が足りなくて困ってるんだ」と頼んだ。たちまち明るくなる孝夫の顔。

「いいよ。僕ね、水まき大好きなんだ」やっと出た声も弾んでいる。すぐにホースを手に取り、張り切って水まきをする孝夫の背中が踊っているようだ。——誰だって自分を頼りにされると悪い気はしない。そしてそれに応えられる自分が誇らしく、嬉しいものだ。そのことは、時として折れそうな心も立ち直らせてくれるのではないだろうか。

やがて看護師さんが水着一式を届けてくれ、彼は待ちに待ったプールに無事に入れることになった。「さて、この下に宝石が眠っています。勇気を出して取ってみよう」私はイルミネーションの大きな宝石(クリスタル)を水深板(プールの中に沈めて深さを調節するもの)の奥に隠し、それを発掘する「宝探しゲーム」を提案した。孝夫はすぐに潜り、トンネルのようになっている水深板の奥に宝石を見つけて興奮する。「あれって本物？」「本物だよ」「スゲー」しかし孝夫は、5秒ほどしか潜ることができない。5年生の祐二も加わって挑戦するが祐二もトンネル内は怖いようで失敗する。あせる孝夫。何度も挑戦しその度に失敗する。しかし潜る時間は確実に長くなり、思い切ってトンネルの中に・・・ついに宝石を手に入れる。「とったどー」孝夫はほえるように宝石をつかんだ手を何度も突き上げる。「こんな孝ちゃん初めて見た」と野原先生は手をたたいて喜んでいる。その隣で祐二が羨望のまなざしで笑っている。——私はこの日、「宝石のような笑顔」をたくさんもらった。



賛助会費/NPO 愛実の会の活動に対しての費用

鈴木 武二 江口 信子 戸田 伊助 吉戸 瑛子 中谷 塩子 加藤 百代 上泉 建  
 西川 道子 浅野 幸治 佐藤 全弘 八木 隆作 小川 澄三 鈴木 純夫 神原 光  
 櫻井 淳司 板倉 洋和 鈴木 洋子 後藤 尚子 澤木 綾子 早川 吉彦 林 恵子  
 伊藤 清香 小林 友子 二村 有紀 橋詰 四郎 入門 健一 大村 恵子 桐村 剛  
 岡本 恵子 梶野 和恵 杉本 誠 渡邊 綾子 菊地 康之 竹内 淳子 渡辺 幸  
 今枝ミサ子 尾崎志満子 鈴木百合子 榎本久美子 川口いづみ 山崎眞由美 伊藤てい子  
 山口安男・敏枝

土地建物/将来の NPO 土地建物取得費用

吉岡満智子 中森 由哉 西川 道子 山崎眞由美 比企 敦子

紙風船夢づくり/紙風船の人形劇製作、公演活動に関する費用

宮田 鈴枝 中森 由哉 伊藤 和昭 石井 昌也 渡邊 綾子 吉戸 瑛子 松元 拓也  
 伊藤 純一 吉野 利江 深澤 春男 酒井 淳子 成田 秀子 丹下 進 宮原 裕子  
 木村 淑江 小林 友子 伊藤 恵美 堀池 育志 堀田 幾子 永井 猛 赤星 実環  
 浜嶋 一史 早川 吉彦 岡本 恵子 青木 教子 高田よし子 林 恵子 板倉美恵子  
 成田実千代 村瀬きよ子 和久井由利恵 山口安男・敏枝 北嶋寿一・佳寿子

NPO 資金/NPO の運営に関する費用

橋本 利正 中森 照子 中森 由哉 吉田 豊子 丹羽まゆみ 臼田 治子 島 一郎  
 村上 裕子 中野 瑤子 水野 亨好 吉澤 道子 佐藤 登志 上泉 建 原田 忠  
 丹下 進 吉岡満智子 八木隆太郎

寄付・その他

伊藤きみ江 竹内 淳子 宮崎 正和 松田 正直 浅野 幸治 足立 克己 宮川 等  
 早川久美子 湯元 睦美 上泉 建 水島 三造 加藤 百代 坂口 良彬 牛田 ヒサ  
 中川 鋪子 柏木 実 高木さき子 榊原 ちる 菊池 康之 野村眞理子 石田伊志子  
 吉岡満智子 長津 栄 佐藤千萬子 名古屋ワイズメンズクラブメネット会 水野 幸子  
 横江 誠一 梅村 亜恵 津田加代子 奥山 喜正 西村 牧子 鶴崎 祥子 鈴木 恭子  
 岩崎 武男 福島 真 日比野房子 伊藤 暁子 渡邊 綾子 土屋美恵子 立嶋トシ子  
 市原信太郎・誉子 YMCAワイズメンズクラブ 京都みぎわキリスト教会

ご協力ありがとうございました。

\*\*\*\*\*  
**任意団体「障害者・友だちの会・愛実」受付分**

新型インフルエンザの流行が心配されています。ここでも弱者と言われる人には高い危険が伴うと言われています。予防で対応できる部分があるので、頑張りましょう。ご協力感謝致します。長村

- 「寄付金個人・教会」 楠本啓子 朱 文洪 後藤光枝 下村徹嗣 佐野都吾・美穂  
 横井忠弘 (複数回) 中山静雄 藤 深智 大藪礼子 青本光子
- 「賛助会費個人」 吉谷尚之 (複数回)
- 「土地建物基金個人」 岩田太万亀 (複数回)

## 第2回NPO法人愛実の会定例会報告

愛実の会では今年度よりの新しい試みとして、理事や管理的立場の職員だけで法人の課題を考えるのではなく、もっと広がりを持って一緒に考えていくことが大切であろうとの思いに基づき、正会員(総会議員)が集まって定期的に法人の課題について話す時を持ち、その話し合いの中身を法人の運営に生かしていこうということで、4月の第1回に続き第2回目の定例会を7月25日(土)に開催いたしました。正会員42名中24名の参加でした。

今回は、まだまだ正会員の多くの方が自分の思いを充分に出していないのではないかと、このことでまずは1人1人に思いを出してもらおうを考えグループに分かれて活発に思いを出し合いました。

参加者は、メンバー、家族(親)、職員、協力者といくつかの立場からそれぞれの立場に立った意見が出されました。以下その中でも主要な意見を記します。特に主要な意見については、立場を超えて共通に考えている事柄ではないかと思っています。

土地建物移転の件：建物の使いづらさや手狭さを感じる拠点があるのが現実です。この件については話し合いの後スライドによる報告もあり、時期・一箇所集中か分散か・賃貸か購入か・資金確保の問題等課題も多く今後も大切な課題であることを確認しました。

職員待遇の件：決して充分とはいえない給与面の現実があり、給与面の保障とともに研修等充実してより質の高いケアが出来るよう法人として考えていくことも大切であると思っています。

医療的ケアの確保：医療的ケアが必要なメンバーも多数ではないが通所しており、彼らが確実に通所できるよう看護師体制の強化が必要なことと思っています。

その他、今後ホームヘルプをどうしていくか、ケアホームが必要ではないか、地域とのつながりを強めていきたい、社会福祉法人化は？、通所のための送迎は大丈夫か？、等々様々な意見が出されました。あとまだまだ少数意見が出されました。少数とはいえ、貴重な意見で決して軽んじて良いわけではないと考えております。

今回の話し合いを今後に生かしていくとともに、次回(第3回)定例会については、今回の話し合いをふまえて、具体的に課題を深く協議していきたいと考えております。

中森 由哉



# 職員募集

## ■ 正規職員 2010年4月1日採用

勤務内容：生活介護事業所（通所サービス）における介護全般と活動をサポート

募集人員：若干名

勤務時間：9：00～17：00

休日：日曜日＋週1日（週5日勤務）

基本給：高卒 136,000～／月 専門学校卒 144,000～／月

大卒 152,000～／月

資格：ヘルパー2級以上・普通自動車免許必須



## ■ 看護職員（パート）随時採用

勤務内容：生活介護事業所（通所サービス）における医療的ケア

（胃ろうからの水分・栄養分注入・吸引・呼吸器等管理）と介護全般

募集人員：1名

勤務時間：10：00～16：00を基準に応相談

勤務日：週2～3日（水曜日と土曜日を含む）

時給：准看護師 1,200円～／月 正看護師 1,300円～／月

## ■ 介護職員（パート）随時採用

勤務内容：生活介護事業所（通所サービス）における介護全般と活動をサポート

募集人員：若干名

勤務時間：9：00～17：00（もしくは9：00～16：00／10：00～17：00）

勤務日：月～土のうち 週3～4日

時給：800円～／月 または 850円～／月（資格・経験による）

資格：ヘルパー2級以上・普通自動車免許必須

興味のある方はぜひ気軽に一度ご連絡下さい！

問い合わせ先：052-700-1120（法人事務所・担当中森）

## 扇風機寄贈の御礼

7月末に市内在住の方より、中部善意銀行様を通して扇風機4台の寄贈を受けました。3箇所を通所サービス拠点と事務所におきまして、暑い中メンバーや職員の体調管理に重宝していると共に、冷房の利かせ過ぎ防止にも役立ってくれています。ありがとうございました。

# ボランティアさん大募集

仲間達と一緒に活動して下さる方、また食事の後片付けや掃除等を手伝っていただける方を随時募集しています。

興味のある方は、ぜひご連絡ください！！

## イエローシートキャンペーン実施中

毎月11日「イオン・デー」に開催される『イオン幸せの黄色いシートキャンペーン』に愛実の会も参加しています。

現在ジャスコ名古屋みなと店様、マックスバリュート千種若宮大通店様、イオン大高店様にボックスを設置させていただいています。  
ぜひ、ご来店の際はご協力よろしくお願いします。

### <連絡先>

<b>特定非営利活動法人愛実の会 事務局 居宅介護事業所 あみ</b> 〒456-0034 熱田区伝馬1-8-1-201 TEL 052-700-1120 FAX 052-700-2383 e-mail npo-aminokai@sf.commufo.jp	<b>大地の家</b> 〒456-0034 熱田区伝馬2丁目28-14 「名古屋働く人の家」内 TEL 052-681-6488 e-mail ami_daichi01@yahoo.co.jp
<b>紙風船</b> 〒457-0845 南区観音町5-109 TEL/FAX 052-694-5458 e-mail ami_kamifuusen@yahoo.co.jp	<b>愛実友だちの家</b> 〒456-0057 熱田区五番町18-29 TEL/FAX 052-651-5953 e-mail ami-tomo@na.commufo.jp

### 「NPO愛実の会」ご支援のお願い

郵便振替 座番号 00850-6-187490  
座名称 特定非営利活動法人 愛実の会

- ◆ 賛助会員 NPO愛実の会の活動に対しての費用
- ◆ 土地建物取得 将来のNPO土地建物取得費用
- ◆ 紙風船夢づくり 紙風船の人形製作費、公演活動に関する費用
- ◆ NPO資金 NPOの運営に関する費用

1□1,000円（NPO資金は1□3,000円）何□でも結構です。  
ご支援していただける項目を振込用紙に記載の上ご協力お願いいたします。

※ 年2回（夏号と冬号）に「振込料金加入者負担」の「払込用紙」を同封させていただいています。  
ご利用下さい。